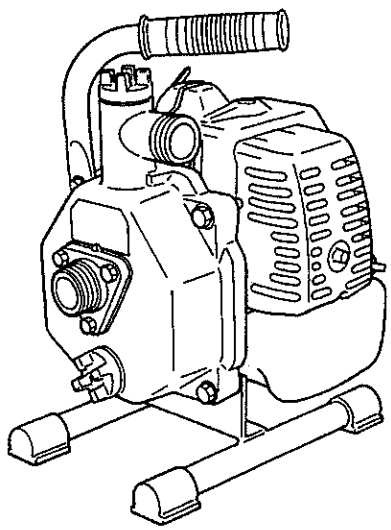
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

エンジン ポンプ

EPR231
EPR410



⚠ 注意

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。又、内容をよく理解したうえでご使用ください。不適切な操作や保守は、重大な事故につながるおそれがあります。なお、本書はいつでも利用できるように、大切に保管してください。

9ZZ9010034

国内排出ガス自主規制について

このラベルは、(社)日本陸用内燃機関協会の小形汎用ガソリンエンジン排出ガス自主規制に適合していることを示しています。

(社)日本陸用内燃機関協会：陸用エンジン業界の健全な発展と最新技術の開発を図り、併せて関連する諸製造業界の発展にも寄与することを目的とする団体です。
本協会は、小形汎用ガソリンエンジンの排出ガス中の有害物質を低減する自主規制に取り組んでいます。

自主規制の内容については、下記のホームページにてご覧頂けます。
http://www.lema.or.jp

ま え が き

このたびは、**マキタエンジンポンプ**をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書には、**マキタエンジンポンプ**を上手に安全にご使用いただき、常にご満足いただける性能を発揮させる上で必要なことをまとめてあります。
ご使用前に全て熟読し、正しい取扱いをされますようお願い申し上げます。
取扱説明書は大切に保管し、いつでも見られるようにしておいてください。
尚、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

※仕様変更などにより内容が一部実機と異なる場合があります。ご了承ください。

目　　次

1.安全にお使いいただくために 1
2.仕様・性能曲線 4
3.各部の名称 5
4.ご使用前の準備 7
5.エンジンの始動方法 9
6.ポンプの運転方法 12
7.エンジンの停止方法 14
8.点検・整備 16
9.自分でできる簡単な整備 17
10.故障の診断 19
11.長期保管する時には 21

1. 安全にお使いいただくために

安全にご使用いただくために、シンボルマークや標語を次のような内容で使いわけてあります。

⚠危険：この表示はその警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性が高いと考えられる項目に使用します。

⚠警告：この表示はその警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性が考えられる項目に使用します。

⚠注意：この表示はその警告に従わなかった場合、けがや火傷を負う可能性が考えられる項目に使用します。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

またそれぞれの項目に危険を回避するための予防措置を記載していますので必ず守ってください。

安全のために、以下の注意事項を十分にご確認の上ご使用ください。

⚠危険

火災防止のために

- 燃料補給は必ずエンジンを止めて行ってください。エンジンを運転したまま燃料を補給すると燃料がこぼれて、エンジンスパークやマフラーなどから引火することがあります。
- タンクに燃料を入れ過ぎないようにしてください。燃料がこぼれた時には十分に拭き取り、完全に乾いた後にエンジンを始動してください。
- エンジンのまわりは火気厳禁にしてください。燃料に引火、火災の危険があります。
- 排気ガス出口付近には、燃えやすいものは近づけないでください。
  マフラーの排気口付近は高温になります。火災の原因になりますのでガソリン、マッチ、紙、わらくず等、燃えやすいものを近づけないでください。
- 平坦な安定した場所に設置してください。
  傾斜地では燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因になります。

⚠警告

周囲の環境

- ポンプは石や砂利のない安定した水平な地面の上で運転してください。
- ポンプは建物から少なくとも1m離して運転してください。
- ポンプは引火性の物や燃えやすい物（紙くず、ボロ布、油、爆発物など）から十分に離れた所で運転してください。

⚠ 警 告

排気ガスに注意

■ 排気ガスを吸い込まないように注意してください。排気ガスには無色・無臭の一酸化炭素が含まれており、吸い込みますと意識を失ったり、人命にかかわることもあります。

■ ガレージや納屋のような屋内や閉め切った場所でポンプを運転しないでください。

■ 人や動物のそばで運転する時には特に注意を払ってください。

■ 室内、トンネル内などの換気の悪い場所では使用しないでください。
エンジンの排気ガス中には一酸化炭素などの有害な成分が含まれており、ガス中毒を起こす危険があります。やむをえない場合は、排気ガスの室外放出等、十分換気をしてください。

⚠ 注 意

その他の重要な注意事項

■ ポンプの運転中は回転部や高温部に触れぬようにご注意ください。

■ 使用方法の指導をしないで他人にポンプを運転させることは絶対にしないでください。

■ ポンプの緊急停止法と、ポンプ各部の機能を良く理解しておいてください。

■ エンジンの運搬時は燃料を必ず抜いてください。
燃料がタンクに残っていると燃料が漏れ、火災の原因になります。
燃料は必ず2サイクルオイルとの混合ガソリンを使用し、ガソリンだけでは運転しないでください。

■ 燃料ホースやジョイントがゆるんだり、燃料が漏れたりしていないか、十分に点検してください。

・作業前にエンジンポンプの取扱説明書本文を読み、内容を認識してから、使用してください。

■ このポンプの使用目的は「水」に限定します。

■ 各部の穴に、手や物を入れないでください。これらが巻き込まれた場合、ケガの原因となります。

■ 運転時は、吐水ホースの先端を必ず固定してください。噴き出す水の勢いで吐水ホースが動き回り、ケガの原因となります。

■ 運転時、呼び水プラグとドレンプラグは、しっかり締め付けて使用してください。
これらの締付けがゆるい場合、プラグが飛び出しケガの原因となります。

■ 熱くなっているマフラーやエンジン各部を触らないでください。
火傷の恐れがありますので、これらの箇所には十分な熱害防護策をしてください。
幼児が触れないよう隔離措置をして、安全な場所で運転してください。

■ 始動時や運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。

■ 作業前の点検をしてしてください。（くわしくは17ページを、お読みください。）

・燃料パイプ等の取付部がゆるんでいないか、又損傷していなか十分確かめて、必要があれば締め付けや交換をしてください。燃料漏れは引火する危険があります。

・各部のボルト、ナットのゆるみはないか確かめてください。各部の機能に異常が生じ危険です。

・冷却ファンやリコイルスターターの周囲から、ゴミ、草及びその他のくず等は、取り除いてください。

・オイルは適量に入っているか確かめてください。オイル不足は機能に異常が生じ危険です。

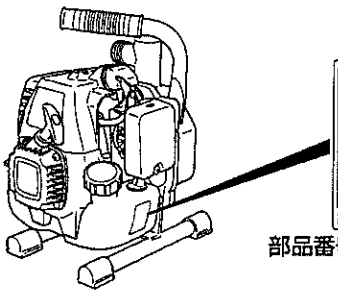
・運転する時の服装にご注意ください。前掛け、腰タオル等特に長い紐類は巻込まれたり、引掛かる危険があります。

・使用後は、子供の手の届かない場所に保管してください。

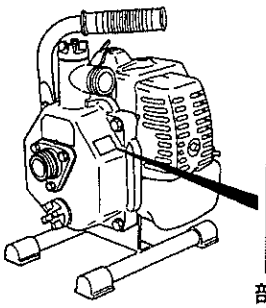
⚠警告表示

- 下記に示す場所に、特に重要な危険事項に対し注意ラベルが貼付されています。使用に際しては、十分に理解の上守ってください。
- 注意ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合には貼りかえてください。

EPR231

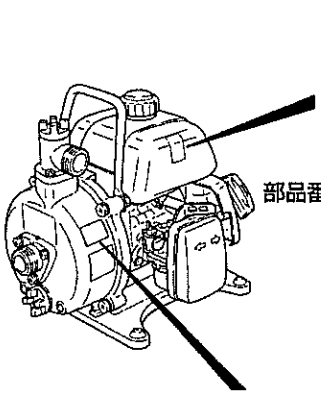


部品番号 0736389960



部品番号 480-02510-26

EPR410

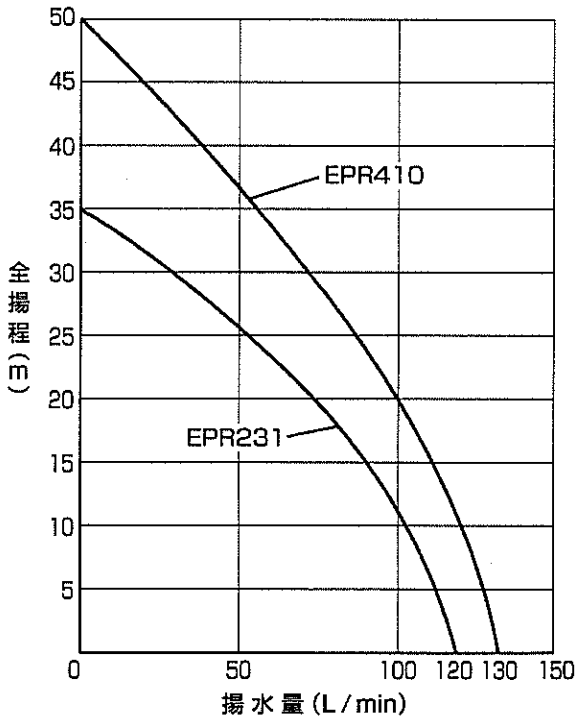


部品番号 0736389960

部品番号 480-02510-26

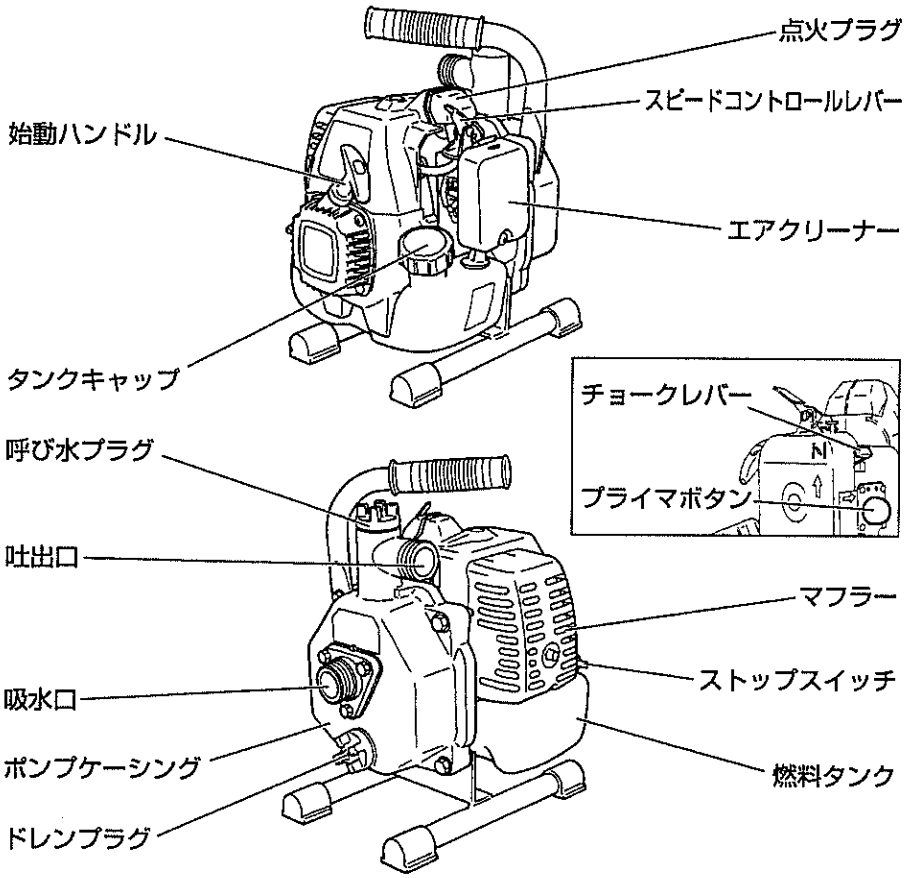
2. 仕様・性能曲線

名　称			EPR231	EPR410
ポンプ	口径	mm	25×25	25×25
	全揚程	m	35	50
	吸水揚程	m	8.5	8.5
	吐出量	L/min	120	130
エンジン	名　称		EC025G	EC04EHR
	総排気量	mL(cc)	24.5	40.2
	最大出力	kW(PS)/rpm	0.88(1.2)/7000	1.5(2.0)/7000
	定格出力	kW(PS)/rpm	0.55(0.75)/6000	1.0(1.4)/6000
	使用燃料			
	種類		無鉛ガソリンと2サイクル専用オイルの混合ガソリン	
	混合比		25～50：1	25：1
	燃料タンク容量	L	0.6	1.1
外観寸法 全長×全幅×全高		mm	275×212×298	375×280×293
乾燥質量		kg	5.1	6.4

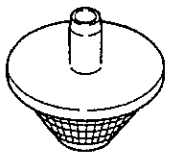


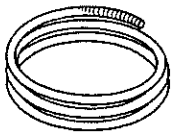
3. 各部の名称

EPR231



付属品

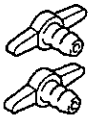

ストレーナ


吸水ホース 3m

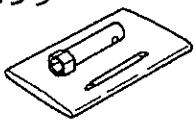
3/4"ホース カップリング

3/4"ホースバンド

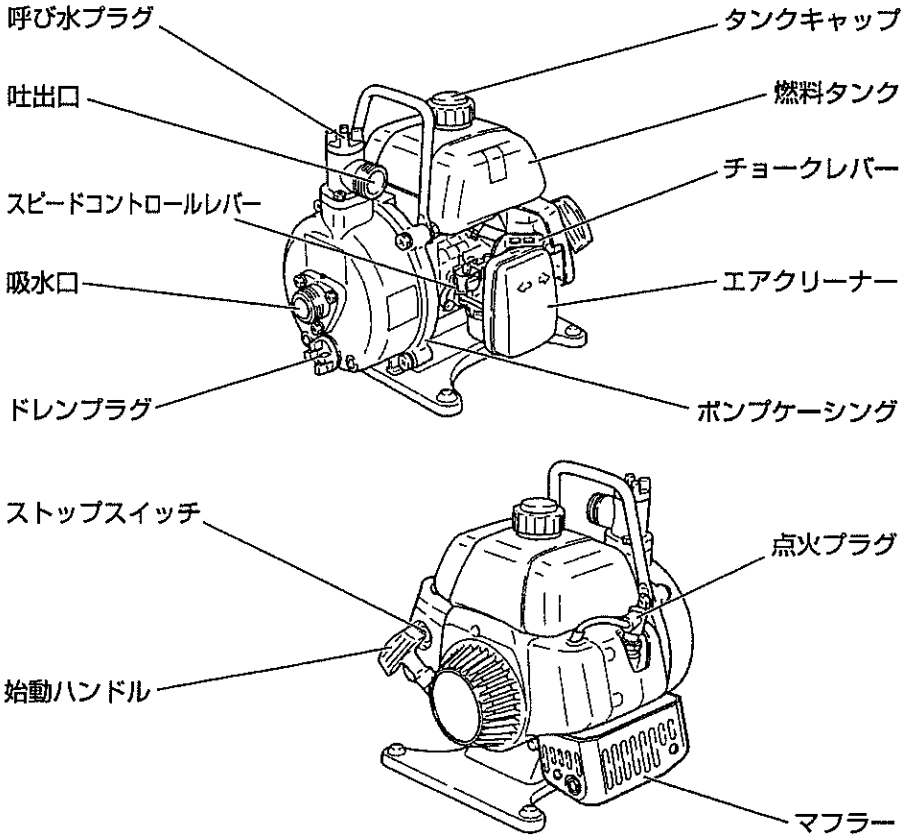
ホースバンド


ホース カップリング

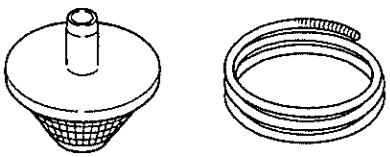
取扱説明書


付属工具一式

EPR410



付属品



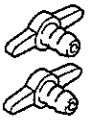
ストレーナ

吸水ホース 3m

3/4"ホース カップリング

3/4"ホースバンド

ホースバンド



ホース カップリング

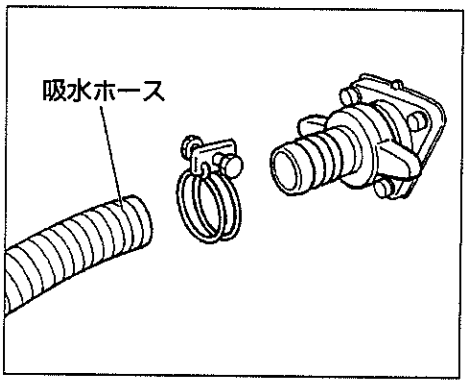
取扱説明書

付属工具一式

4. ご使用前の準備

1. 吸水ホースの接続

吸入負圧によるホースのつぶれを防ぐため、壁面強化ホースまたは針金入りホースを吸水側には使用してください。ポンプの自吸時間はホースの長さに比例しますので、吸水ホースの長さはできるだけ短くしてください。

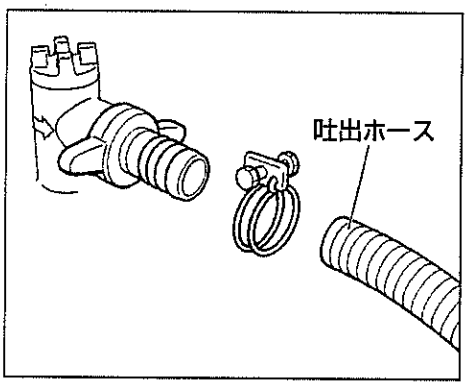


⚠ 注 意

- ■ 吸水ホースには必ずストレーナを取り付けて使用してください。土砂や異物がポンプに吸い込まれるとインペラの重大な損傷の原因となります。
- ■ 水の吸水口のストレーナは目詰まりしないように、たえず清掃してください。

2. 吐出ホースの接続

布ホースを使う時には、ポンプの吐出圧力でホースが外れたりしないように必ずホースバンドで締め付けてください。



⚠ 注 意

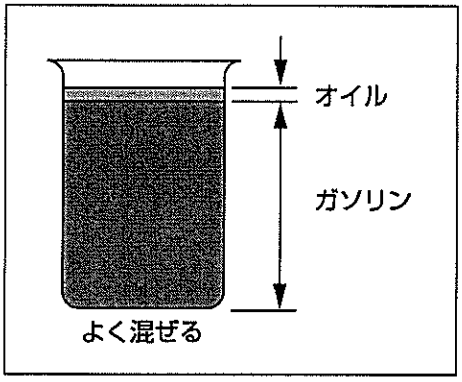
- ■ 運転時は吐出ホースの先端を必ず固定してください。噴き出す水の勢いで吐出ホースが動き回りけがの原因となります。
- ■ 吐出ホース側に設けるバルブを急激にふさがないでください。
- ■ 吐出ホースは、通過車両に踏みつけられない位置に設置してください。ホースをタイヤが踏みつぶすことで、吐出側を急激にふさいだことになり、ポンプ内の圧力が異常に高まり、ポンプが破損する原因になります。

3.燃料の補給

燃料は潤滑油混合ガソリンを使用してください。ポンプ購入後、最初の20時間は15：1から20：1の潤滑油混合ガソリンを使用してください。
その後の燃料混合比は下表を参照してください。

モデル	混合比率(ガソリン：オイル)
EPR231	25 ～ 50：1
EPR410	20 ～ 25：1

混合する潤滑油は必ず2サイクル専用オイルを使用してください。

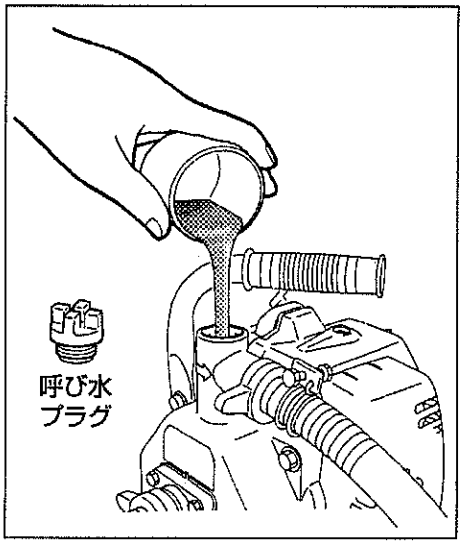


⚠ 危 険

■ 燃料補給は必ずエンジンを止めて、火気厳禁で行ってください。

4. 呼び水の補給

このポンプは自吸式ですので、ポンプ運転前には必ず呼び水口より水を十分に注入してください。

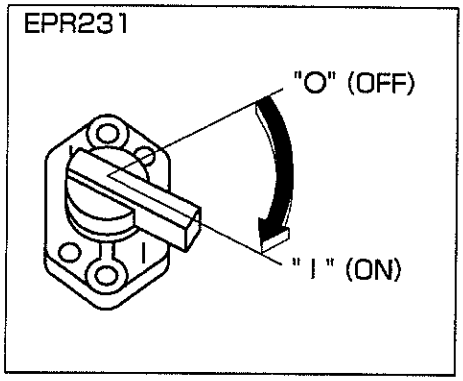


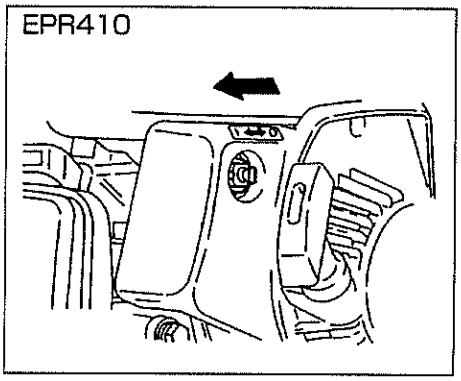
⚠ 注 意

■ 呼び水を入れないでポンプを運転しないでください。呼び水なしで運転するとポンプが過熱します。長時間運転するとメカニカルシールが破損します。水無し運転でポンプが過熱したときは、直ちにエンジンを停め、十分に温度が下がってから呼び水を補給してください。

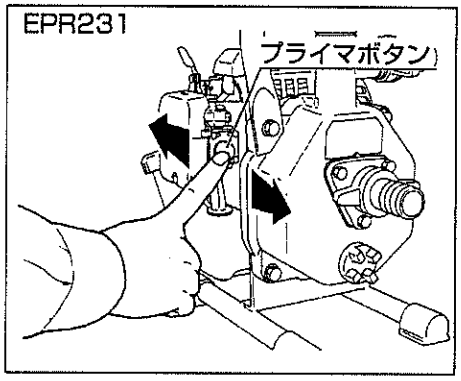
5. エンジンの始動方法

1. ストップスイッチを "I" (ON)側にします。

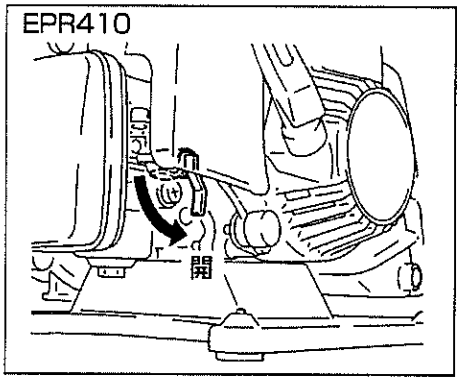




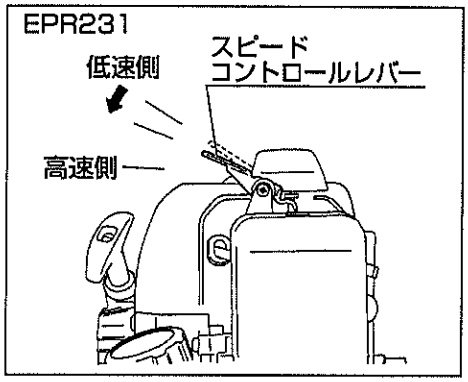
2. 〈EPR231〉
キャブレターのプライマボタンを5～7回押してください。(燃料がキャブレター内に送られます。)

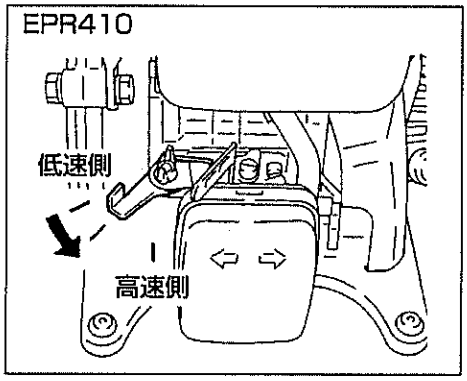


〈EPR410〉
燃料コックを開きます。



3. スピードコントロールレバーを低速側から高速側へ1/3ほど開いた位置にセットします。

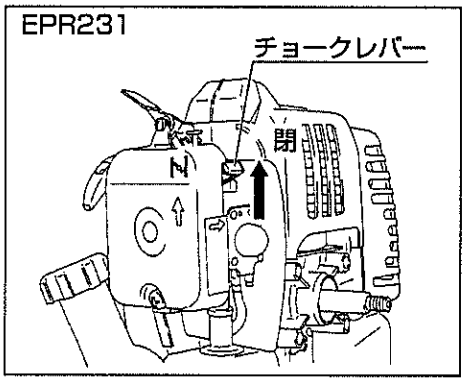


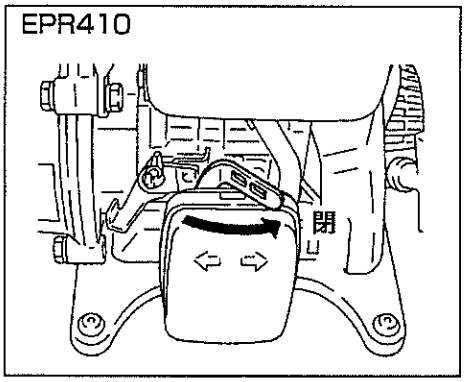


4. チョークレバーを閉じます。

■ エンジンが温まっている時や気温が高い時はチョークレバーは全開または半開にしてください。

■ エンジンが冷えている時や気温が低い時はチョークレバーは全閉にします。

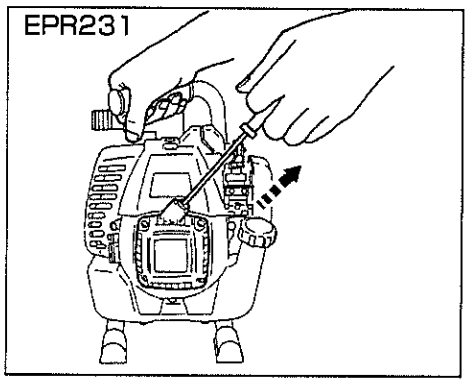


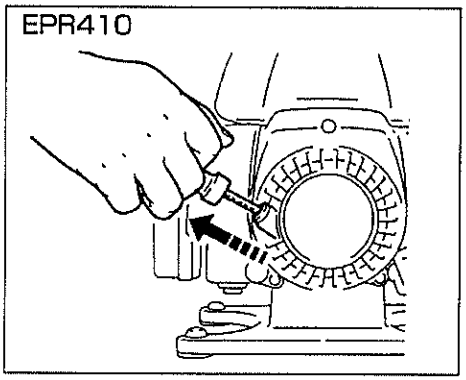


5. 始動ハンドルをゆっくり引いていくと重くなる所（圧縮点）があります。
そこから始動ハンドルを一旦元に戻し、勢いよく引っ張ってエンジンを始動します。

■ 始動ロープを一杯に引ききらないでください。

■ 引いた始動ハンドルはその位置で手離さずに、静かに元に戻してください。

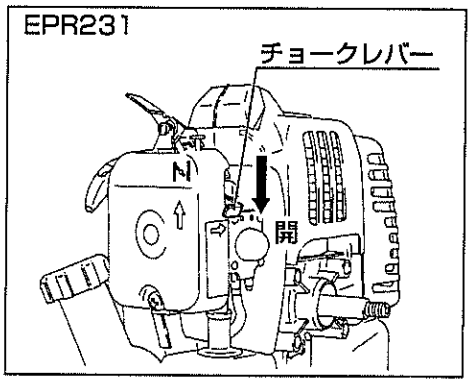


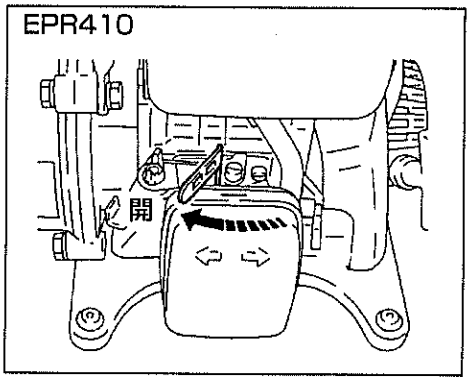


6. ポンプの運転方法

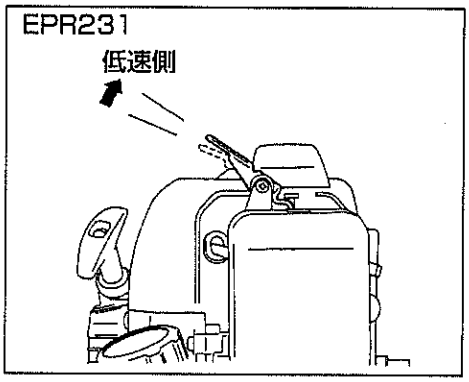
1. エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に開き最後に全開にします。

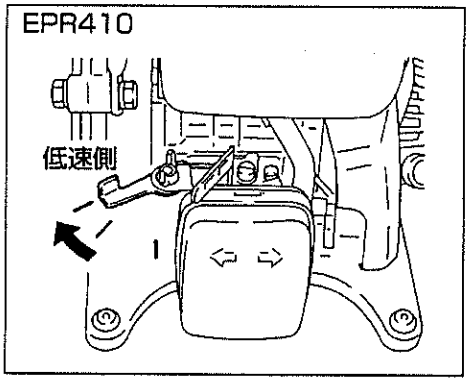
■ エンジンが冷えている時や気温が低い時にチョークレバーを急激に開くと、エンジンが停止することがあります。エンジンの調子を見ながら徐々に開いてください。





2. エンジン始動後、スピードコントロールレバーを低速側にセットして2~3分間、暖機運転をします。





3. スピードコントロールレバーを徐々に高速側に操作し、必要な回転数にセットします。

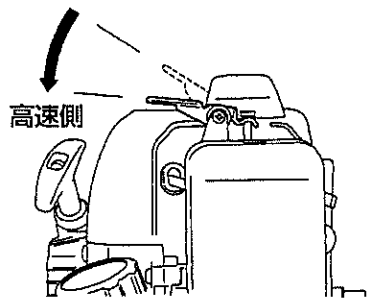
■ 高速にすれば、吸上水量が増えます。

エンジンの高速運転が不要の時には、そのつどスピードコントロールレバーを低速側に戻してください。燃料の節約のみならず、エンジンの寿命にも好影響を与えます。

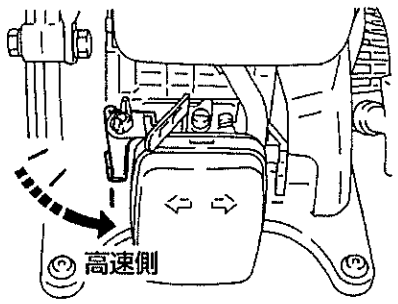
⚠ 注 意

■水を吸入しない状態でエンジンを長時間高速運転しないでください。
ポンプ損傷の原因になります。

EPR231



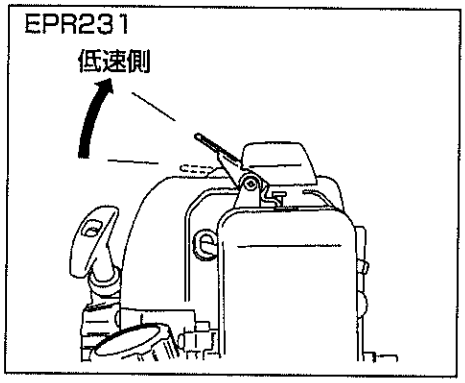
EPR410

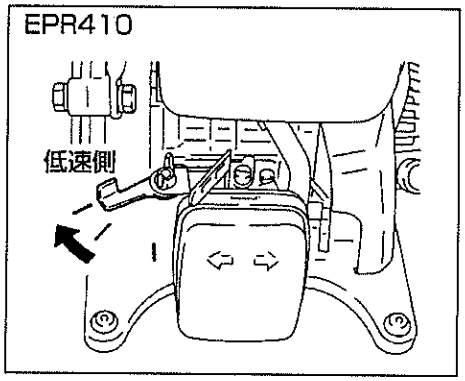


7. エンジンの停止方法

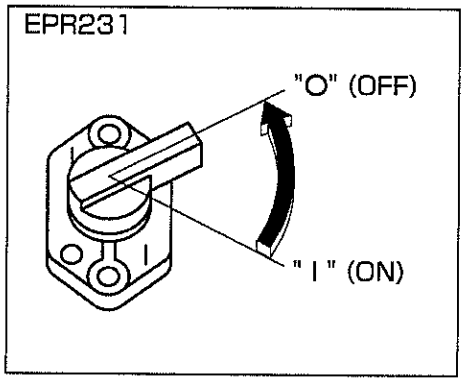
1. スピードコントロールレバーを低速にし、2~3分間運転します。

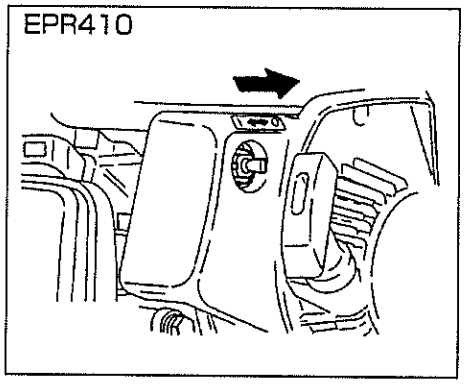
※ エンジンを高速運転の状態から急停止することは避けてください。



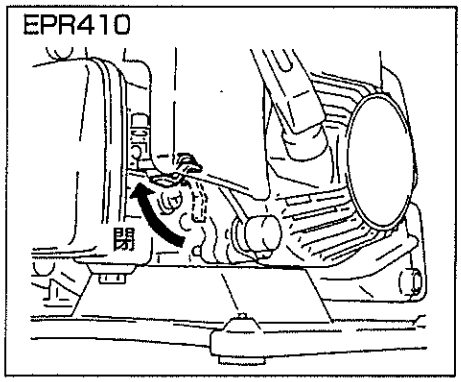


2. ストップスイッチを "O" (OFF)側にします。



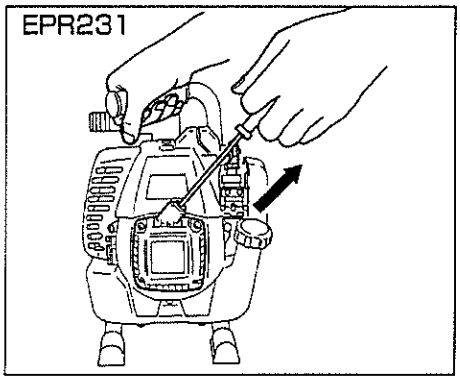


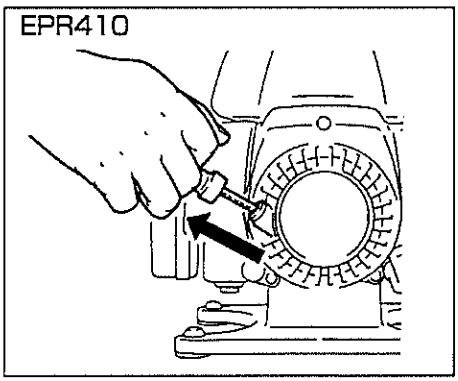
3. 燃料コックを閉じます。(EPR410のみ)



4. 始動ハンドルをゆっくり引き、重くなった所で始動ハンドルを元に戻します。

※ この操作でエンジン内部への外気（湿気）の侵入を防ぐことができます。





燃料コックでエンジンを停止させる方法

ポンプを長期間（1カ月以上）使用しない時には、最後にエンジンを止める時に無負荷状態（呼び水を入れた状態）で燃料コックを閉にしてエンジンが自然に停止するのを待ちます。
この方法で長期間保管中のキャブレター内の燃料の変質によるキャブレター内部の詰まり等のトラブルを防ぐ事ができます。

8. 点検・整備

日 常 点 検

ポンプをご使用になる前に、次の点検を行ってください。

■ 燃料は十分に入っていますか？

■ 異常な振動や音は出ていませんか？

■ エアクリーナーのエレメントは汚れていませんか？

■ 周囲の環境は安全ですか？

■ 燃料は漏れていませんか？

■ 各部のボルトやナットがゆるんだり外れていませんか？

■ 呼び水は十分に入っていますか？

定 期 点 検

あなたのポンプを安全に効率よくご使用いただくために、次の点検表に従って、定期点検を必ず行ってください。

この点検表は通常の標準的なポンプの使用状況に基づいたものです。

	8時間 (毎日)	50時間 (毎週)	200時間 (毎月)
エンジン清掃、ボルト・ナットの点検	●		
スパークプラグの清掃		●	
エアクリーナーの清掃		●	
ポンプケーシングの分解・清掃			●
スパークプラグの電極調整			●
燃料ストレーナの清掃			●

⚠ 注 意

■ 燃料ホースは2年毎に交換してください。
ただし、キズ、燃料漏れが見つかった時は
直ちに交換してください。

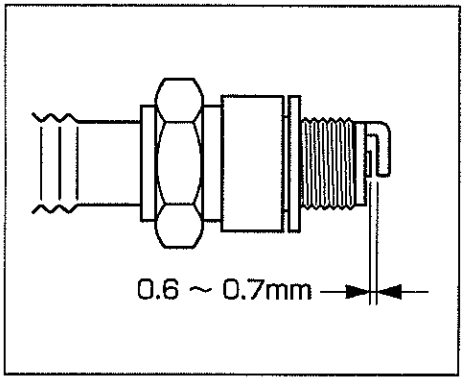
9. 自分でできる簡単な整備

点火プラグの清掃と調整

■ プラグの電極がカーボンで汚れている場合は、プラグクリーナー又は、ワイヤーブラシ等で汚れを落してください。

■ 電極間隙の広い場合は側方電極を曲げて、0.6~0.7mmに調整します。

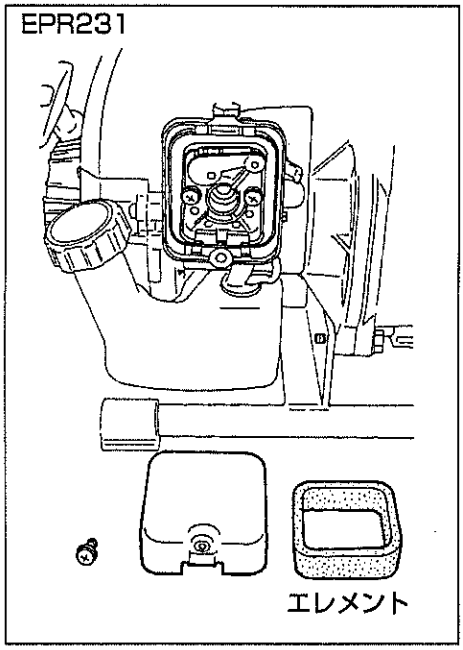
EPR231	NGK BM7A (チャンピオン CJ4またはCJ6)
EPR410	NGK BPM7A (チャンピオン CJ6YまたはCJ7Y)

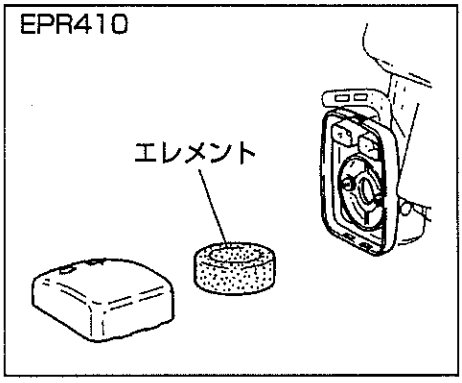


エアクリーナーの清掃

■ エアクリーナーのエレメントが汚れていると、エンジンの始動不良や出力低下、運転不調をきたすばかりでなく、エンジンの寿命を極端に短くします。
エアクリーナーエレメントはいつもきれいにしておくように心掛けてください。

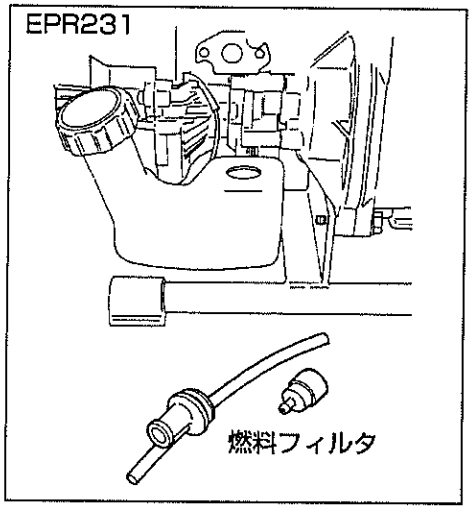
■ クリーナーカバーを外し、エレメントを取り出します。
エレメントは白灯油で洗浄後、白灯油3：エンジンオイル1の割合の混合油に浸し、固く絞ってから取り付けてください。
エレメントはひねって絞らず、押し絞るようにしてください。

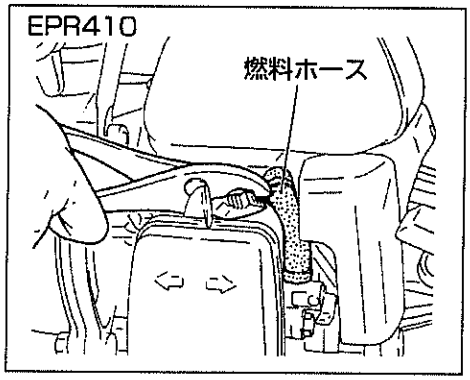




燃料ホースの交換

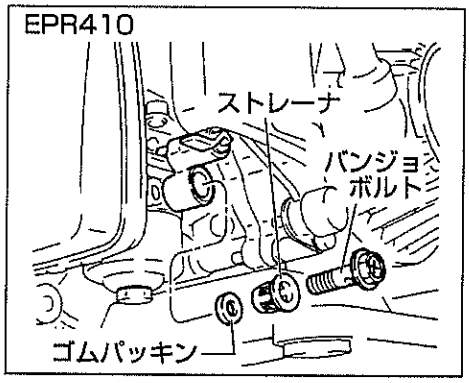
■ 燃料ホースは2年毎に交換してください。
キズ、燃料漏れが見つかった時は直ちに
交換してください。





燃料ストレーナの清掃

■ キャブレターのバンジョボルトを外し、
ストレーナを白灯油で洗浄してください。



ボルト・ナットやネジの点検

■ ゆるんだボルトやナットは増締めします。

■ 燃料や水の漏れがないか点検します。

■ 破損部品は新品と交換してください。

10. 故障の診断

ポンプが廻らない

- エンジンが始動しない。
  （20ページを参照してください。）
- ポンプのインペラーが固着している。
  （分解して清掃してください。）

ポンプの吐出水量不足

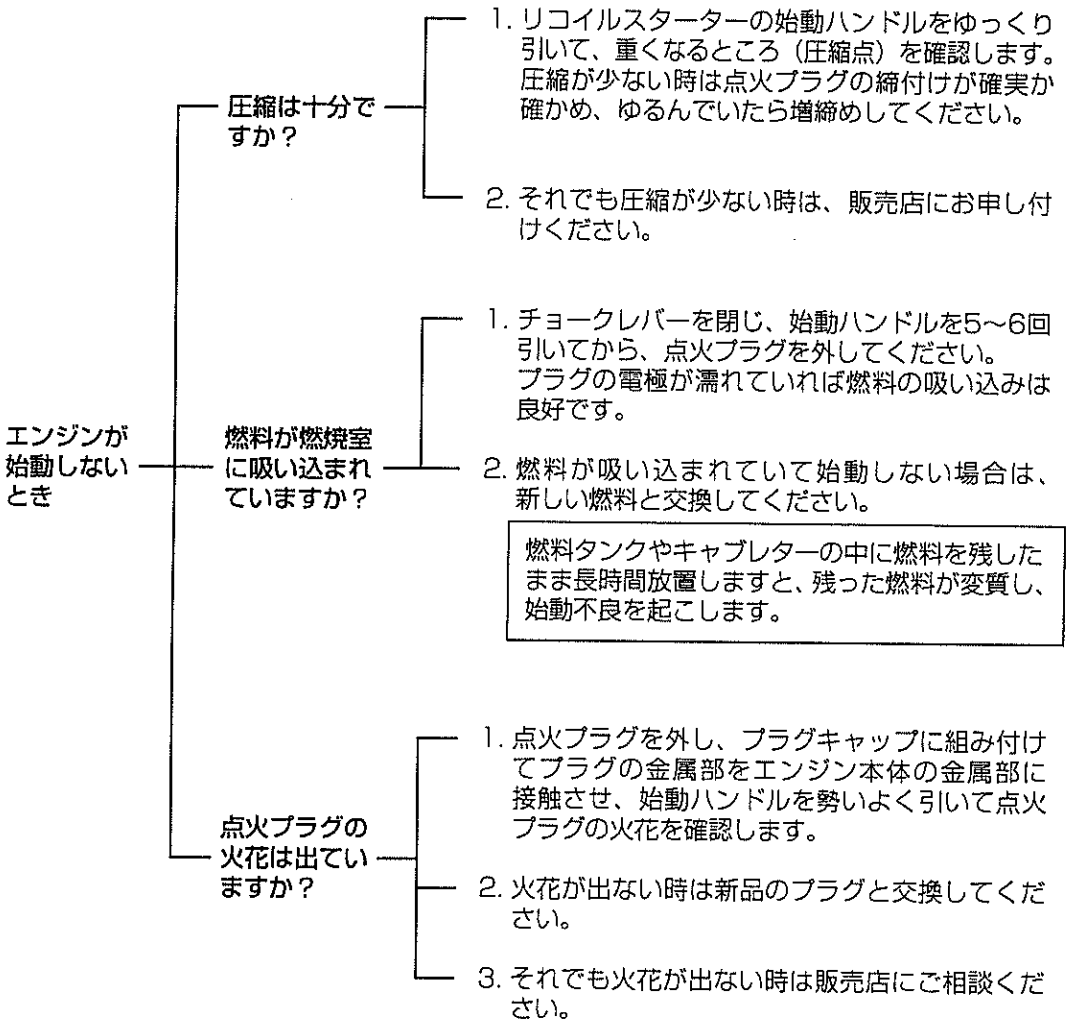
- 吸水側で空気を吸い込んでいる。
  （吸水側の各接続部から空気漏れのないよう確実に締め付けてください。）
- エンジン出力低下
  （販売店にご相談ください。）
- メカニカルシールの破損
  （販売店にご相談ください。）
- 吸水揚程が高すぎる
  （水面からポンプまでの高さを低くしてください。）
- 吸水ホースが細い、または長すぎる。よじれている。
  （太いホースを使う。短くする。よじれを直す。）
- 吐出側で水が漏れている。
  （漏れを止めてください。）
- インペラーに異物が詰まっている。
  （分解して清掃してください。）
- インペラーが摩耗している。
  （新品と交換してください。）
- エンジンの回転が低い。
  （販売店にご相談ください。）

ポンプが自吸しない

- 給水側で空気を吸い込んでいる。
  （給水側の各接続部から空気漏れの無いよう確実に締め付けてください。）
- 呼び水が足りない。
  （ポンプケーシング一杯に呼び水を入れてください。）
- ドレンプラグの締め付け不足。
  （ドレンプラグをしっかりと締め付けてください。）
- エンジンの回転が低い。
  （販売店にご相談ください。）
- メカニカルシールが空気を吸い込んでいる。
  （販売店にご相談ください。）

エンジンが始動しない時には

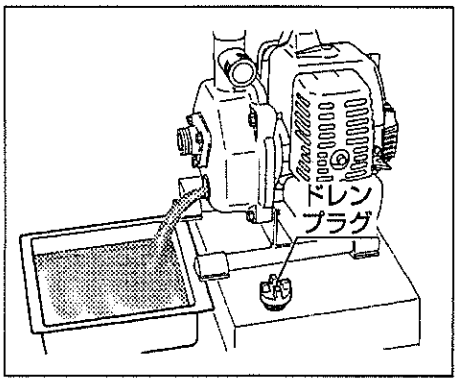
■ 修理を依頼される前に、まずご自身で次の点検を行ってください。
点検された上で、なお異常のある場合は、お買い求めの販売店または、最寄りのマキタ直営事業所にご相談ください。



11. 長期保管する時には

〈EPR231・EPR410〉

■ ポンプ本体のドレンプラグを外してポンプ内の水を完全に排出します。(図はEPR231)

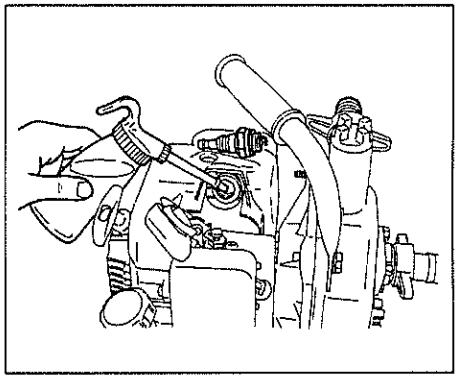


⚠ 注 意

■ 水抜き後、ドレンプラグを取り付ける前にドレンプラグのネジ部分とポンプケーシングのドレン孔のネジ穴をきれいに清掃してください。土砂やゴミが付着したままドレンプラグを締め付けるとネジ山が破損する恐れがあります。

〈EPR231・EPR410〉

■ 点火プラグを外し、エンジンオイルを約5cc 燃焼室内に注入します。
リコイルスターターの始動ハンドルを2~3回静かに引いてオイルをエンジン内部に行き渡らせます。(図はEPR231)

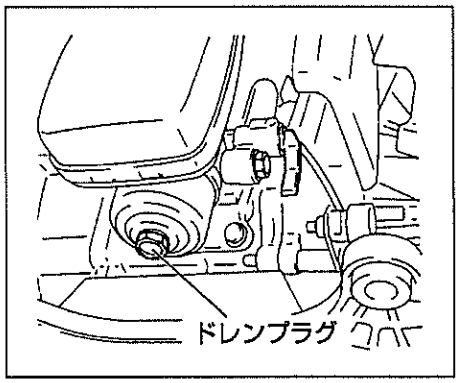


■ 点火プラグを締め付けてから、始動ハンドルをゆっくりと引き重くなった所（圧縮点）で止めておきます。

■ 各部を油布で清掃し、カバーをかけて湿気、ホコリの少ないところに格納してください。

〈EPR410〉

■ キャブレターのフロート室底面のドレンプラグを外します。燃料コックを開いて、タンクとキャブレター内の燃料を完全に抜き取ってください。**(火気には十分注意してください。)**



全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）